

六甲高山植物園 湿生植物区 子どもたちに人気の食虫植物が見頃です!

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)が運営する六甲高山植物園では、「湿地性の植物とともに、せせらぎ、湿地などの風景も楽しんでいただける空間づくり」をコンセプトに、今年4月に湿生植物区のリニューアル工事を行いました。その一部に、耐寒性のある「サラセニア」「ハエトリソウ」「モウセンゴケ」などの食虫植物の露地栽培を行い、お子様を含め、幅広い世代のお客様に楽しんでいただける空間を作っています。また、子ども達に広く植物に親しんでいただくことを目的に、子ども向けの観察体験プログラムも実施いたします。



サラセニア



ハエトリソウ



モウセンゴケ

〈サラセニア〉

サラセニア

ウツボカズラの捕虫囊(ほちゅうのう)に形状が似た囊状の葉をもつ食虫植物で、昆虫やその他の小動物をおびき寄せ、捕らえ、消化し、養分を吸収します。捕虫囊は鮮やかな色と複雑な模様を持ち、開口部の縁からは、蜜を分泌して昆虫をおびき寄せます。昆虫は、いったん捕虫囊の中に入ると、内部の鋭い下向きの毛によって、はい上がることができず、最終的には胃酸に似た分泌物によって消化され死んでしまいます。現在お花が咲いており、8月上旬頃までお楽しみいただける見込みです。



サラセニア 花

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】3月19日(土)~11月23日(水・祝) 【休園日】9月1日(木)、8日(木)

【開園時間】10:00~17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)620円/小人(4歳~小学生)310円/シニア(65歳以上)520円

<ハエトリソウ>

園内で最も人気のある食虫植物です。名前は「ハエトリソウ」とありますが、ハエの他にもダンゴムシやアリ、ハチなども捕えます。開いた葉の内側からは虫を誘引する蜜が分泌されます。葉の内側には両側に3本ずつ計6本の棘があり、それを続けて2回刺激すると葉が素早く閉じる仕組みになっています。また、葉の閉じる速度は0.5秒ほどであると言われています。



ハエトリソウ 葉

<モウセンゴケ>

漢字では「毛氈苔」と書きます。葉の表面に腺毛がたくさん生えていて、その先からきらきらと光る粘液を分泌し、虫を貼りつけ、消化吸収してしまいます。花序の先はわらび巻き状で、数個の花が片側につきます。北海道～九州、樺太・千島・朝鮮、北半球の温帯～亜熱帯に広く分布し、日当たりのよい酸性湿地にはえる多年草です。園内では現在、小さな白い花を咲かせており、8月上旬頃までお楽しみいただける見込みです。



モウセンゴケ 花

<夏休みイベント情報>

■夏休みの宿題解決 観察の達人になろう!

「葉の付き方」「花のかたち」といった、植物を識別する際にポイントとなる箇所を紹介することで、植物を観察する目を養っていただきます。ワークシートには、2つのレベルを設け、「初級編」では観察ポイントの紹介、「上級編」では園内や身近にある植物を観察し、分類に挑戦します。完成したワークシートは、「観察の達人」の証となるほか、自由研究の成果としてご活用頂けます。



観察の達人になろう! イメージ

【期間】7月16日(土)～8月31日(水)

【時間】10:00～17:00 (16:30受付終了)

【会場】六甲高山植物園内

【参加費】無料(別途入園料要)

【共催】阪急阪神ホールディングス株式会社

※本プログラムは、阪急阪神ホールディングスの

「ゆめまちプロジェクト」に認定されています。

<観察ポイントの例>

- ・葉っぱのつき方を比べてみよう
- ・食虫植物の虫の取り方を比べてみよう
- ・花の形を比べてみよう



私たちは、未来へつなぐ「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。



観察の達人になろう! イメージ

ショップ・アルピコラにて食虫植物の苗を販売中!

園内にある「ショップ・アルピコラ」では、「モウセンゴケ」「ムシトリスマレ」「ハエトリソウ」などの苗を販売しています。育て方についての資料もお渡ししておりますので、夏休みの自由研究にもおすすめです。